

# おいらの エーデル

Oirano love edel vol.8

エーデル土山ショートステイ通信

やっと、春が来ました。今年の冬はいつもより暖冬だったようですが、やはり寒さが身に染みだ季節となりました。

春になると一気にエーデル裏手のトラバースロードのチェリーが花開きます。このチェリーは実は食べることができます。

たまにご利用者の方にもチェリーを採ってもらい、食べるのですが、これが結構いける！ということで、今回もおいらのエーデル『春号』をお楽しみ下さい。

## 『ひな人形作りをしました』

ひな祭りには、手作りひな人形を制作しました。ひな祭りとは、平安時代の京都の風習だった子供の無病息災を願う上巳の節句（じょうみのせつく）と、ままごとの遊びが江戸時代初期に融合し、女の子のお祭りになったといわれています。レクリエーションの一環として、ご利用者の方々に手伝ってもらいながら作業を進めてまいりました。手作り感満載ではありますが、心のこもった作品に仕上がっております。



『緊急時にもショートをご利用いただけます。』

この度、介護保険法が改正となり、ショートステイが満床でも、緊急を要する方にはショートをご利用していただくことが可能となりました。

### 『緊急時のショートステイ受入』

ご利用者の状態やご家族等の事業により、ケアマネージャーが緊急にショートステイを利用することを必要と認めた場合においては、特養の静養室を利用することが可能となりました。ご利用いただくには一定の条件が必要ですので、ショート担当奥村かケアマネまでお問い合わせください。

TEL:0748-66-1911 (奥村)

TEL:0748-66-1920 (エーデル ケアプランセンター)

緊急短期受入加算 1日/93円が基本料金とは別にかかります。



## 奥村哲弥のコラム 第8回 『自己責任を学べ』

4月は出会いの季節でもある。我々エーデルにも新人職員が入職してくる。とても若く、初々しいその表情には希望と不安が入り混じった何とも言えない新鮮さがある。僕も社会人となって十年以上が経過したが、まさに光陰矢のごとし。何と時の経過の早いことか。この十年の間に、僕の社会人一日目の希望と不安はどう変化したのだろうか。どっぷり、社会の日常に馴れてしまったのかも知らない。最近、思うことがある。それはこの介護業界で働くスタッフのことだ。とあるテレビのインタビューで、ある介護スタッフが、『自分の生活が将来的に不安です。』と訴えている姿が映し出されていた。確かに介護報酬というものは国の公定価格として定められているのだが、いや待てよ。本当に将来の不安があるのは、国や介護保険、事業所だけのせいなのか？この業界や仕事を選んだ『自己責任』は一体どこにあるのか？やたらめったら『国が悪い』『上が悪い』と責任を転嫁しても、責任の所在は不明確で、批判したつもりが案外、自分のほほを切っているような時がある。少なくとも、社会が悪いと批判したところで、この業界や仕事を選んだのは、最終は『自分』であり、他人に押し付けられたのではないだろう。もし、介護の仕事をしていて不安があるのであれば、自己のスキルを高めるか、他職種へ転職するかを『自己責任』において決めればよいだけの話である。メディアに窮状を訴えても、なかなか解決には至らないはずだ。僕はこの社会人となってからの十年で、一番学んだことは『自己責任』ということだろうと思った。新人には、責任を他に転嫁しない強い自分を学んでほしいと願っている。